

学校法人 KTC 学園

屋久島おおぞら高等学校 学校評価

教育目標

- ・ホリスティック教育の先駆者として、屋久島だからできるスクーリングの実施
- ・グローバル（世界基準）教育を意識した生徒の興味・関心を引き出すスクーリングの実施

重点目標

- ・教職員のスキルの向上を目指し、生徒が安全に、安心して学校生活を送れるように努める
- ・生徒が学習や体験を通して、自立していく支援に努める

分野領域

| | 目標 | 方策 | 自己点検評価 | 自己評価 |
|-------|---------------------------|--|---|------|
| 学 務 部 | 業務の効率化 | 業務内容の見直しを図る。 業務に対する知識の向上 | 手順書を作成し、無駄を省くことができた。 業務に対する知識を向上させる為、研修を行った。 | B |
| 教 務 部 | 教育課程の充実 | 教育目標に合った教育課程の検討を図るとともに、学則変更を行う。 | 次年度から「科学と人間生活」「英語会話」を教育課程に加えることが出来た。 | A |
| 進路指導部 | 進路情報や資料の収集と適切な提供および計画的な活用 | 卒業予定者に向けて進路指導進捗状況を全教職員が把握できるようにする。 進路指導に向けての教職員への研修を実施する。 | 職員室内に掲示をして、全職員が個々の進路進捗状況を把握できるようにし、担任一人が抱え込まないようにすることができた。 年度はじめに全教職員に研修することにより、各々が当事者意識を持って指導に当たれるようにした。 もう一步踏み込んだ指導にまで至らなかった。 | B |
| 生活指導部 | 規則正しい生活 | 消灯を守らせる。 朝食を食べさせる。 | 消灯 23 時、起床 6 時 30 分は概ね守らせることができた。 朝食については、指導に工夫が必要である。 | B |
| 学 寮 部 | 給食指導 | TABLE FOR TWO への取り組みに参加する。 TABLE FOR TWO の取り組みについて生徒へ意識させる。 | 取り組みを通じて、世界へ視野を広げることができた。積極的にプロジェクトへ参加する生徒もいた。 スクーリングに参加した時だけでなく、更に日頃から取り組む意識を持たせられるように働きかける。 | B |
| 事 務 部 | 普通救急救命講習を全教職員に受講させる | 全教職員に受講させられるように、地元の消防署と連携を取る。 | 一部の教職員は講習を受けることが出来なかった。 次年度は指導員の養成を図る。 | B |

評価基準 A：達成 B：概ね達成 C：やや不十分 D：不十分